

### 3 摘蕾・摘花

春になり、枝に芽生えた蕾（つぼみ）を取り除きながら数を調整します。

花が咲いた後、樹全体の枝ぶりを見て花を摘む作業を行います。川中島白桃は着果しにくい品種のため、あまり行わないようにしましょう。

#### ポイント

実になる前の「摘蕾」と実を付けてからの「予備摘果」「本摘果」、袋掛けに合わせて行う「見直し摘果」などの段階を踏んで適正着果にします。

手間をかけ段階的に減らしていく理由は、病虫害の影響や果実の生育状況、葉や枝の状態を観察しながら収穫する果実の数を調整するためです。

また、急な摘果は核割れの原因にもなるため、徐々に減らしていくことが必要です。

#### 【摘蕾の実施】《重要作業》

##### (1) 摘蕾のねらい

- ① 「晩霜があるから摘蕾しない」では、適玉・高糖度のももは取れません。
  - ・貯蔵養分の無駄な消費を防ぎ、幼果の肥大・新梢の伸長・細根の発達を助けて葉枚数を早く確保しましょう。
  - ・生育成熟期間の短い、早・中生種ほど恩恵が大きくなります。
- ② 摘果作業の効率化を図り、生理障害(核割れ・落果)を軽減するために重要な作業です。
  - ・鈴なりの果実を一度に摘果して落とすと、生理障害の原因になりますが、摘蕾では、影響が少なくなります。
  - ・摘蕾⇒(花摘み)⇒予備摘果⇒本摘果⇒見直し摘果と、順々に落とします。

##### (2) 実施時期

- ① 早い⇒効果高い・作業性悪い  
遅い⇒効果低い・作業性良い・葉芽を傷めやすいです。
- ② 花蕾が丸く膨らみ、先端にピンク色の花卉が僅かに見え始めるころから開花までに行います。
- ③ 早くから実施すると、作業効率は低下するが効果は高いです。

##### (3) 実施方法

- ① 葉芽をきずつけないように薄い手袋をはめて行いましょう。
- ② 長・中果枝は、片方の手で枝の先端をつまみ、他の手で先端から基部に向けて、蕾をこすり落とします。
- ③ 親指と人差し指で軽く挟んで、上下の蕾をしごいて落してもよいです。
- ④ 短果枝は指先で枝をもむようにし、落とします。

### 摘蕾程度の目安

強く実施	状態	弱く実施
老木	樹齡	若木
弱い樹	樹勢	強い樹
弱い樹	せん定の程度	強い樹
少ない	核割れ・変形・生理落果	多い
良い	結果性	不良
少ない	施肥量	多い
小さい	凍霜害の危険性	大きい
多い	花粉量	少ない

#### (4) 品種別摘蕾の程度

結実が確保できる場合は、初期成育向上、玉肥大向上、核障害低減を目的とし基準より、「強い摘蕾」を実施します。

- ① 樹勢の判断は、長果枝の割合が20%を越えるもの及び、徒長枝の切り口が目立つものは強いと判断します。川中島白桃はある程度落として、人工受粉を徹底します。
- ② 川中島白桃は摘蕾よりも、人工受粉を徹底しましょう。

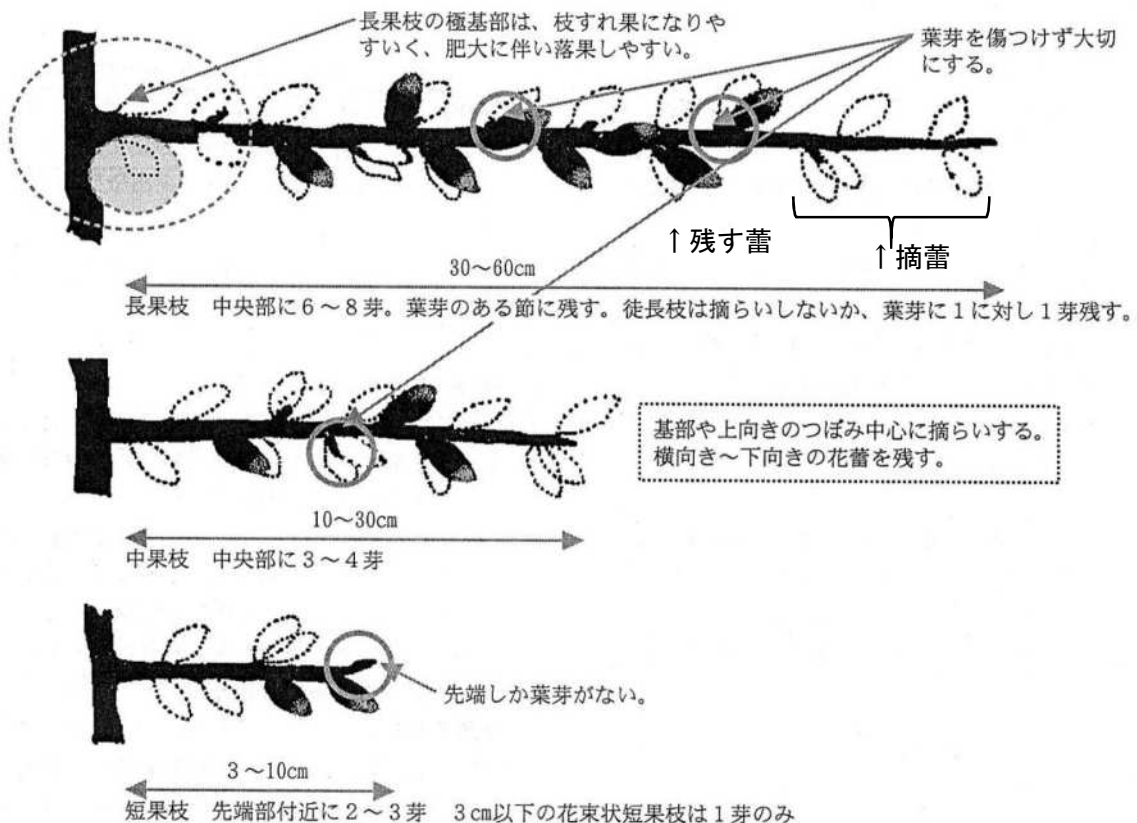


図 結果枝別の摘らいの程度 (岡沢原図 平22)

## (5) 実施上の注意事項

- ① 若木は樹形作りを第一に考え、主枝・亜主枝の先端部の蕾は全部落とします。
- ② 特に主枝・亜主枝の延長枝は、側枝の先端も摘蕾し垂れ下がり防止に努めます。
- ③ 長果枝の基部15cm間の直上芽は、同時に芽かき(芽こき)して徒長枝の発生を未然に防止します。

## (6) 摘花と開葯<sup>かいやく</sup>

蕾が膨らみ、畑が桃色になりはじめた頃に、膨らんだ桃色の蕾・花をとる摘花作業を行います。

人工授粉に必要な花粉を確保するため、摘花した蕾と花から花粉を取る作業を開葯といいます。

開葯品種(花粉・花量の多い品種)は、あかつき、白鳳(千曲)、黄金桃、白根白桃、なつっこ、フレーバートップ、ファンタジア、川中島白鳳、サマークリスタル、秀峰等です。

- ・10a当り必要花粉量は、花蕾で1kg位(収穫カゴ一個位)です。
- ・採花中の保管は日陰などに置き涼しい状態にしておきます。
- ・ビニール袋へ入れると蒸れるのでよくないです。
- ・段ボール・ネット・紙袋・収穫かごなどを利用します。

### ① 開葯場所

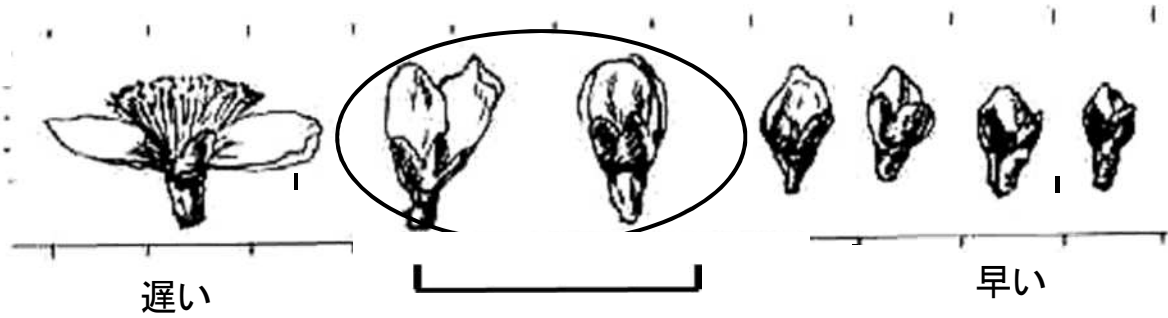
J Aの各流通センター・共選所にて実施します(詳しくはもも情報を参照)。

### ② 開葯方法

- ・摘花で集めた蕾と花を採葯器で細断します。
- ・花びらや花粉、ゴミが混ざったものをふるいにかけて、選別し葯を取り出します。
- ・選別した葯をトレーに乗せ、開葯器に入れ1日ほど乾燥させて葯を開かせ花粉を採取します。
- ・取り出した花粉は、乾燥剤と一緒に保管します。

開花の遅い川中島白桃に受粉する場合で、期間が長くなるようなら冷蔵庫で保存してください。

花の採取適期 ※開花直前（風船）～開花直後（未開葯）を採取。



遅い  
花粉の発芽率は高いが、開葯しており、花粉の採取量が減少する。

採取適期  
この時期のものは、発芽率が高い。このような風船状を採取する。（開花直前～開花始め期）

早い  
この時期のものは発芽率が低い。